

保育園における感染症の登園基準一覧表

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。登園に際しては以下の配慮をお願いします。

- ①園内での感染症の集団発生や流行につながらないこと
  - ②子どもの健康状態が保育園での集団生活に適応できる状態に回復していること
- 自己判断ではなく、医師の許可が出るまで、家庭で安静にしてください。

下記疾患と診断された場合、本人の安静と集団への感染・流行を防ぐため、**出席停止**となります。**医師による診断と証明書が必要となりますので、感染症証明書に記入してもらい保育園に提出後、登園開始となります**

| 病名                                | 感染しやすい時期                               | 登園の目安                                    |
|-----------------------------------|--|--|
| インフルエンザ                           | 症状が出る期間<br>発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が高い | 発病後5日経過しかつ解熱した後3日経過していること                |
| コロナウィルス                           | 発病後5日間                                 | 発症した後5日間を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること         |
| 麻疹（はしか）                           | 発症1日前から発疹出現後の4日後まで                     | 発疹が消失していること                              |
| 風疹                                | 発疹出現の7日前から7日後くらい                       | 発疹が消失していること                              |
| 水痘（水ぼうそう）                         | 発疹出現1～2日前からかさぶた形成まで                    | すべての発疹がかさぶた化していること                       |
| 流行性耳下腺炎<br>（おたふくかぜ）               | 発症3日前から耳下腺                             | 耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過しかつ全身状態が良好になるまで |
| 咽頭結膜熱（プール熱）                       | 発熱、充血等の症状が出現した数日間                      | 発熱、充血等の主症状消失した後2日経過していること                |
| 流行性角結膜炎                           | 充血、目やに等の症状が出現した数日間                     | 結膜炎の症状が消失していること                          |
| 百日咳                               | 抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで             | 特有の咳が消失していること又は適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで    |
| 腸管出血性大腸菌感染症<br>(O157, O26, O111等) |  | 医師により感染の恐れがないと認められていること                  |
| 急性出血性結膜炎                          |  |  |
| 結核                                |  |  |
| 髄膜炎菌性髄膜炎                          |  |  |
| 溶連菌感染症                            | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日                   | 抗菌薬内服後24～48時間が経過していること                   |
| 手足口病                              | 手足や口腔内に水泡、潰瘍が発症した数日間                   | 発熱や口腔内の水泡、潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること           |
| ヘルパンギーナ                           | 急性期の数日間（便の中に1か月程度ウィルスを排出しているので注意が必要）   | 嘔吐下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること                 |
| 伝染性紅斑（りんご病）                       | 発疹出現前の1週間                              | 全身状態が良いこと                                |
| ウィルス性胃腸炎<br>（ノロ、ロタ、アデノ等）          | 症状のある間と症状消失後1週間                        | 嘔吐、下痢などの症状が治まり普段の食事がとれること                |
| RSウィルス                            | 呼吸器症状のある間                              | 呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと                       |
| マイコプラズマ肺炎                         | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間                  | 発熱や激しい咳が治まっていること                         |